

2026年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	化粧品化学Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	1 Semester(前期)
学科・専攻	美容師科	授業 形態	講義	単位 時間	30 1	曜日 時限	金 2・3・4
教員	熊谷 亮宏	教員実務 経験	福岡ベル1期生から美容師国家試験の筆記分野を20年間担当				
【到達目標】	美容師国家試験の科目である化粧品化学が美容師として必要であることを理解し 国家試験合格出題傾向の高い重要ポイントを中心に整理し、基礎的知識への理解を深める						

【授業の学習内容】

『日常的に使用する化粧品にはどんな成分が何のために入っているのでしょうか?』
美容業における化粧品化学の重要性の確認、基礎的な知識を習得する授業を行う
授業の前半は講義形式、後半は演習形式で進めていく。全員が問題を解けるようになるために、周りとの協力しながら演習に取り組んでください

	授業形態	授業計画・内容	小テスト・中間テスト・定期試験
1	登校	美容業で使用する化粧品と医薬部外品の違いについて理解する	小テスト3点
2	登校	健康な毛髪や皮膚を維持するために欠かせない水分・油分について、原料の種類や特性を理解する	小テスト3点
3	登校	美容業で使用する多くの化粧品に配合された界面活性剤について、原料の種類や特性を理解する	小テスト3点
4	登校	視覚的变化を与えるために欠かせない原料である着色料について、原料の種類や特性を理解する	小テスト3点
5	登校	化粧品化学前半の重要ポイントを整理する (グループ学習)	小テスト3点
6	登校	化粧品化学前半の演習問題を解く (グループ学習)	
7	登校	中間テスト (終了後に解説)	中間テスト20点
8	登校	嗅覚的变化を与えるために欠かせない原料である香料について、原料の種類や特性を理解する	小テスト2点
9	登校	化粧品の品質保持に用いられる成分について、原料の種類や特性を理解する	小テスト2点
10	登校	基礎化粧品のうち清浄作用を目的とした『石けん』について、種類や製造方法、特性を理解する	小テスト3点
11	登校	基礎化粧品のうち整肌作用を目的とした『化粧水・クリーム』について、種類や特性を理解する	小テスト3点
12	登校	美容業で最も使用する機会が多い『シャンプー剤』について、種類や特性を理解する	小テスト3点
13	登校	化粧品化学中盤の重要ポイントを整理する (グループ学習)	小テスト2点
14	登校	化粧品化学中盤の演習問題を解く (グループ学習)	
15	登校	定期試験 (終了後に解説)	定期試験50点

準備学習 時間外学習	準備 : 特にありません 時間外学習 : 自主性を重んじているため、授業外における学習はお任せします (授業欠席時の内容は必ず確認しておくこと)
評価方法	●習熟度 : 100点(小テスト30点+中間テスト20点+定期試験50点) ◇出席 : 出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇可否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0) 、 実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価
受講生への メッセージ	勉強が苦手でも構いません 国家試験に合格したいという気持ちを常に持ち続け、そのためにできることは何かを意識しながら、ベルでの2年間を楽しんでください 頑張る学生を応援しています

【使用教科書・教材・参考書】

・『化粧品化学』(日本理容美容教育センター)
・教科書のポイントをまとめた教材を、適時用意します(ノートは必要ないので、プリントを保管するためのクリアファイル類を準備してください)